

## ワークショップの意義

自然豊かな大沼地域を擁する七飯町の住民は、その生活や生業を通じ、自然環境との繋がりが強い。そのため、七飯町のまちづくりを考える上で自然環境の存在は大きく、より魅力的な将来に向けて、それらとどのように向き合い、共存・共栄していくのかというテーマは継続的に考えていく必要がある。一方で、地域の持続性を考える上で、現代世代と将来世代との妥協・協調・交渉する関係性を構築できるようなシステムも必要となっている。

本ワークショップでは、フューチャー・デザイン手法（将来世代の視点を現代世代に取り入れる手法）を用いて将来世代的視点とともに、自然環境やまちなど非人格的視点を七飯町のステークホルダーとして動員し、地域住民一人ひとりが、何をできるのか、何をするのか、を考え、アクションプラン（行動計画）として共有する。これにより参加者は新たな視点の獲得、まちづくり活動に参加するきっかけの獲得などが期待でき、現在の地域愛着の幅を広げるだけでなく、将来への地域愛着を醸成が行われることを期待する（図1）。ただし、フューチャー・デザインは将来世代的視点から我々現代を批判するものではなく、現代の魅力や課題をより鮮明に理解し、より良い未来を実現するためにある。

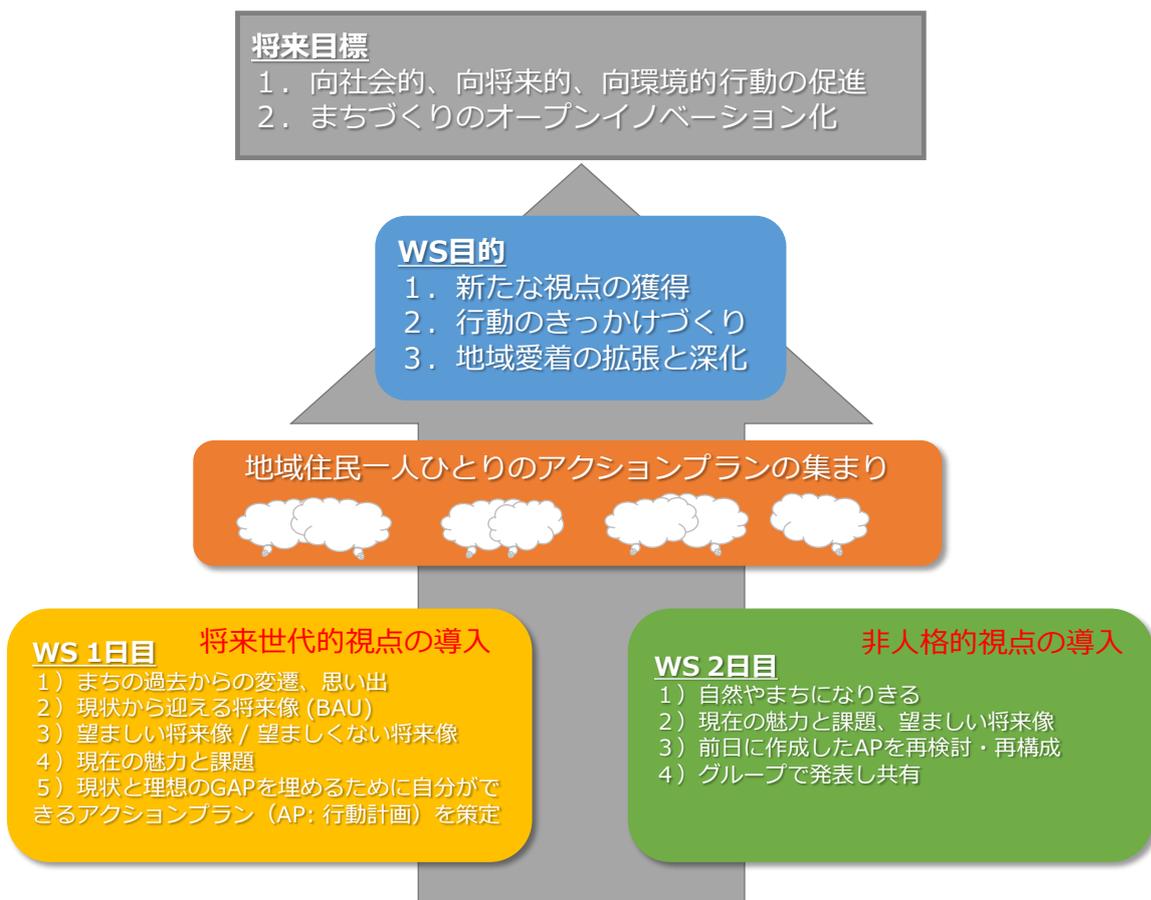


図1 ワークショップの全体構造